



平成29年6月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

伊東の“地魚”PRを推進する「伊豆いとう地魚王国」



↑
地魚おろし方
教室風景

イベントでの
伊東ナゲット
出展 →



「伊豆いとう地魚王国」とは平成27年6月29日に、「伊東市」、「伊東市商工会議所」、「いとう漁協」の3者によって設立された組織で、伊東魚市場に水揚げされる水産物の利用拡大を目的としています。設立3年目となる現在では、26の鮮魚店や飲食店が加盟しています。これまで、伊東・地場産品フェスタ等各種イベント出展による地魚PRの推進、地魚おろし方教室を通じた魚食普及、首都圏への新規販路開拓、ホームページの運営等に取り組んでおり、今後も引き続き、地魚の魅力発信に向けた様々な取組を展開予定です。当場もアドバイザーとして地魚王国に参加させていただいており、地魚王国の更なる発展を応援していきます。

HPアドレス<http://www.sakanaumai.com/>

テングサ作柄予測発表

3月中旬から4月下旬に、伊豆半島の白浜から八木沢にかけての11地区27地点でテングサの生育状況を潜水調査しました。その結果、今年のテングサの作柄は下田から南伊豆地区では前年並～減、松崎から土肥地区では前年並～増、県全体としては前年並と予想されました。また、全域でテングサ以外の雑藻（カジメ、ホンダワラ類等）が目立つ漁場が多く見られました。このような漁場では雑藻刈などによる漁場回復の取り組みが必要です。



解説：本県は全国有数のテングサ生産県で、平成28年の生産量は千葉県、愛媛県に次いで全国3位。県内では伊豆半島西岸で多く生産されている。

←テングサ干し

田子でこども園児がカサゴ放流

東洋水産株式会社田子工場では地域社会への貢献活動として漁協や関係者の協力の下、稚魚の放流活動を行なっています。5月24日大田子海岸で西伊豆町内の3箇所のこども園の園児を招きカサゴの稚魚を放流しました。放流体験の前に分場職員が園児達に食育ミニ講座としてカサゴの生態について話しました。



解説：カサゴは日本近海の暖かい海域に分布し、岩礁や藻場で生活している。成魚は25cm程になる。卵が体内で孵化して仔魚で体外に産出される卵胎生の魚である。

6月の予定●伊豆分場建替えのために敷地内の仮設庁舎へ引っ越します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。●マダイの中間育成が始まります。●キンメダイ種苗生産研究のために親魚捕獲、船上受精を開始します。●アワビ類の加入量調査を実施しています。●西伊豆地域でガンガゼ駆除の効果調査を行います。

6月17日(土)に伊豆漁協魚市場で『水産祭り』が開催されます。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>